ごあいさつ

第10回 エステティック学術会議

会頭　川中　凱雄

第10回エステティック学術会議開催にあたり、ご参加いただきました皆様並びに開催にご尽力いただきました関係者の皆様に厚く御礼を申し上げます。

近年、日本への外国の人達の観光、買い物などによる来日が、急速に増加しています。また海外では、日本食、盆栽など日本の文化が人気となっています。さらに、来日された外国の人達から、日本のサロンが提供する施術サービス、接客などの素晴らしさが日本の美容への関心を高めています。

このような環境良化のなかで、日本のエステティックが、「美と健康への貢献」の役割を担うことは、極めて適切であるといえます。

そこで、今回のテーマを「美と健康への貢献―エステティック」といたしました。

この役割を自覚し、日本にエステティック文化を根付かせ、発展していただきたいと思います。

そのためにも、基本となる清潔、安全のための衛生管理は極めて重要です。

当財団では、安全のための衛生基準の策定と教育体制の確立、機器の安全性の検証研究などを行い、消費者の保護に資するためにも各種の調査研究を行っております。

また、「美と健康への貢献」の観点より、医療、介護、フィットネスなどとの連携によるエステティックの展開へも調査研究の重要な分野ととらえています。

この学術会議が、ご参加の皆様及びエステティックに関わる皆様にとり有意義なものとなりますことを祈念いたします。